

01.こんな深夜に訪問者とは…

あら、こんな深夜に訪問者とは…珍しいです  
教会へようこそ、迷える子羊さん♥今宵は一体どのようなご用でしょうか  
風の噂で聞いてはいますか？身体が重い？ちよっとよく見せてください…！何たる光栄でしょう…！  
胸元、失礼しますね…  
いいです、だいたい分かりました…  
勇者様は今、悪しき者よつてに呪われてく  
かなり強い呪いで…このまま放っておくと、いざ死に至るでしょう…  
勇者様、この街に来る前に、魔物と戦ったり、そこで傷を負ったりはしませんでしたか？  
お話を通るほど、そうでしたか…  
最近魔法を主にした魔物も多くなってきた原因で、他の冒険者も口にしております…

02:私は勇者様の味方ですから

しかしこの呪いは、強力で中々厄介な呪いですね…私で被い切れるでしょうか…  
勇者様、お苦しいとは思いますが、もう少しっかりと見せて頂けますか？

どうされることはありますか？勇者様…私には勇者様の味方ですから♡

ふふっ♡聖なる者の吐息に当てられて、呪いが弱まっているようですね…♡  
なるほどなるほど…私の力でも十分に祓うことができた呪いのコト、よくわかりました…♡

後ほっ、ビックリと、呪いを祓う解呪の儀式を行います…そのための下準備をさせて頂きます…♡  
このように…勇者様の身体を刺激すること…やはい私の見立てに間違いは無いようです…♡

ふふっ、ビクンと、呪いを祓う解呪の儀式を行います…やはい私の見立てに間違いは無いようです…♡  
このように…勇者様の身体を刺激すること…やはい私の見立てに間違いは無いようです…♡

ぶっ、浮き立たせるのです…♡  
勇者様、♡耳への刺激だけでは足りないようです…♡

何なら私が上のお手伝いますよ♡さあ、脱いでください♡

はぁ…♡これは勇者様の匂い…♡  
ふふ…♡先ほどはそれ、先ほどの続きを…♡

今度は…♡先ほどはそれ、先ほどの続きを…♡  
今度は…♡先ほどはそれ、先ほどの続きを…♡

乳首は軽く、爪で弾くように…♡  
快楽に負けてはいけませんよ、勇者様…♡

乳首が固くなっている…♡  
乳首を弾くたびに…♡さっきから、情けない声が漏れ出てしまっています…♡

乳首を弾くたびに…♡さっきから、情けない声が漏れ出てしまっています…♡  
乳首を弾くたびに…♡さっきから、情けない声が漏れ出てしまっています…♡

今ふふ、また快楽に負けそうになっている…♡  
今ふふ、また快楽に負けそうになっている…♡

乳首も…♡お好きでしたか…♡  
乳首も…♡お好きでしたか…♡

ダメです…♡快楽を感じないように、我慢してください、勇者様…♡  
乳首…♡お好きでしたか…♡

乳首を摘まんだだけで…♡  
乳首を摘まんだだけで…♡

摘まんだ乳首を…♡  
摘まんだ乳首を…♡

摘まんだ乳首を…♡  
摘まんだ乳首を…♡

摘まんだ乳首を…♡  
摘まんだ乳首を…♡

摘まんだ乳首を…♡  
摘まんだ乳首を…♡

摘まんだ乳首を…♡  
摘まんだ乳首を…♡

摘まんだ乳首を…♡  
摘まんだ乳首を…♡

摘まんだ乳首を…♡  
摘まんだ乳首を…♡

摘まんだ乳首を…♡  
摘まんだ乳首を…♡

摘まんだ乳首を…♡  
摘まんだ乳首を…♡

摘まんだ乳首を…♡  
摘まんだ乳首を…♡

摘まんだ乳首を…♡  
摘まんだ乳首を…♡

摘まんだ乳首を…♡  
摘まんだ乳首を…♡

摘まんだ乳首を…♡  
摘まんだ乳首を…♡

摘まんだ乳首を…♡  
摘まんだ乳首を…♡

摘まんだ乳首を…♡  
摘まんだ乳首を…♡

03:清めて差し上げます

では私の身をもつて、穢れた勇者様の身体を、清めて差し上げます…❤  
では、勇者様、これから勇者様の中の呪いを祓います、チンポを出してください❤  
早く、恥ずかしがらないで、早くチンポを出してください❤  
ほくし、早いと、呪いを祓いきれなくなってしまうので…勇者様の命にも関わりますよ？  
ほらほら、早く下の服を脱いでください❤

まあ、これが…勇者様のチンポ…❤  
しかし…まだあまり大きく勃起していないようですね…  
チンポが勃起していきなれば、勇者様の呪いを祓う事が出来ません…

では、こうしましょう…❤  
勇者様…❤私の身体に…んっ❤チンポを擦り付けてください…❤  
少しづつ…固くなってきましたね…❤  
私のお腹の下で…固くなっています…❤  
ふふ…十分にチンポが勃起しましたね…❤

ではこれから簡単に…呪いを祓う方法を説明しますね❤

チンポの先端から、精液を吐き出すこと…❤それが射精です❤

勇者様が憑りついた呪いを、身体の外に吐き出すこと…❤それが重要なのです❤

私がしつこく方法を祓つて、勇者様の身体に負担がかかなくてしまえます❤

身体の中の精液を空っぽにするまで、何度でも射精する必要がありますから❤  
それでも…よろしいですか？  
：はい❤では私が責任を持って、勇者様の精液を空っぽになるまで吐き出させて差し上げます❤

これから勇者様の中の呪いを祓う儀式を行うのですが…

そのために…快感を感じて頂かないと、射精は出来ませんから❤

それなら…まだよく分からないのですね❤

勇者様の心に、直接聞いてみましょう…❤

私の胸の音、聞こえますか…？  
トクン、トクンという音…聞いてみると、なんだか心が落ち着いてきませんか…？

自分自身を隠す必要はありません…正直に、私の声に応えてください…

勇者様の身体は、どの部分が興奮しますか…？  
女性？勇者様は、脚が好きなのですか…？

はい、分かります…❤  
では、勇者様の望み通り…脚を使って、勇者様の呪いを祓いましょう❤  
そちらの祭壇の上に、仰向けに寝転がってください

04:潤滑油を使って…

今回は、私の秘蔵の…このエルフ特製の潤滑油を使いましょう♥  
実は以前、この教会でシスターとしての修行をしていた、エルフ族の女性がいたんですよ  
それをきっかけに、この街とエルフの里に交流が生まれ、里のエルフたちが作った珍しい道具や貴重な薬がよく入って来るんです  
特にこの潤滑油は…エルフが魔力を込めて作った物で、エルフや人間の性的興奮度を高める効果があるんです♥

エルフ向けの物を人間用少しに薄めた物ですが…それでも効果は十分過ぎるほど…♥

この潤滑油を…勇者様のチンポに…♥んんんっ♥  
如くです♥エルフの魔力で、人肌よりも少し暖かい温度を保つようになってるんです♥  
これだけ垂らせば…んっ、十分にしよう♥  
では…私の脚で、勃起したチンポを刺激し、射精を促して差し上げますね♥

ほら…勇者様のチンポは今、私に踏みつけられていますよ♥  
まさか、勇者様が…んんっ♥ここまでの変態だとは思いませんでした…♥  
だって、脚でチンポを踏まれて…興奮してしまっているのでしょう♥

ふふっ♥私の脚を跳ね返すように…んんっ♥チンポが力強く脈打ってます♥

こんなに興奮したチンポ…初めて見ました♥

今度は…勇者様の勃起したチンポを…んっ、両足で挟んで…♥

あまり暴れないでください♥チンポを挟めないじゃないですか♥

巷では…手でチンポを扱う事を手コキ、脚で扱う事を脚コキと言うんだとか…♥  
教会には色々な人が出入りしますし…んんっ♥シスターは物知りになってしまおうのです♥

これも…んっ♥風の噂で聞いた話なのですが…

ここを…足の指で…挟むと…♥  
あら、いい声が出ましたね…勇者様♥

噂通り…んっ♥効果覿面みたいですね♥

まだ…射精してはいけませんよ、勇者様♥

私が合図するまでは…射精は我慢してください♥

でないと…んっ♥呪いを祓いきれませんから♥

勇者様は…んっ♥呪いのキが…んっ♥お好みですか♥

このように…脚で挟まれて…上…下…の…がお好きですか…♥

足の裏で…チンポを挟んで…動かしてみたり…♥

それとも…左右の足の動きを…擦り付ける方がお好みですか♥

チンポの裏筋を…んんっ♥足の裏で…擦り付けるように…♥

もしかして…これ…呪いのせいなのでしょうか♥

とても淫乱な勇者様…♥

ふふっ♥今夜の事は、私の胸の内にだけ秘めておきます♥シスターは秘密を必ず守りますから♥

…はい♥

空いてる脚で…乳首も、んっ♥

あら、勇者様は乳首もお好きなのですね♥

では…♥乳首とチンポを同時に刺激して差し上げます♥

反対の乳首も…

今度は…両脚で両方の乳首を♥

コリコリしてききましたよ♥勇者様の乳首♥

ああ…乳首ばかりにかまけて、チンポがおそろそかになっ…♥

ではまた、両脚でチンポを挟んで…んんっ♥

潤滑油を少し足しましょうか♥

ふふふ♥チンポの先端に…♥このくらいで十分でしょう♥

潤滑油をチンポに塗り広げるように…♥

勇者様のチンポが私の足の下で、暴れますよ♥

射精はまだ我慢してください、勇者様♥

今射精してしまっても…呪いを祓いきれません…♥

ですから…勇者様…もう少しだけ…辛抱してくださいませ…♥

呪いに負けては、いけない…♥

まだですよ……♡まだまだ……♡  
もう少し……もう少しだけ……んんっ♡  
辛抱してください、勇者様……♡

ですが…♡まだまだ…♡  
まだ呪いが身体に残っているようですね…♡  
これは…もう一度射精する必要があるそうですね…♡

では：目を、閉じてください  
決して、目を開けてはいけませんよ？

よ、いしよ：私性の秘体を、その顔でしつかりと受け止めてください

聖なる身である私の匂いを吸い込んで、あなたの呪いを一点に集めるのです

さあ：そのまゝ私の匂いを吸い込んで、あなたの呪いを一点に集めるのです

大きな息を吸って、私の匂いを吸い込んで、あなたの呪いを一点に集めるのです

私の匂いを吸い込んで、私の匂いを吸い込んで、あなたの呪いを一点に集めるのです

あな：私の匂いを吸い込んで、私の匂いを吸い込んで、あなたの呪いを一点に集めるのです

では：私の匂いを吸い込んで、私の匂いを吸い込んで、あなたの呪いを一点に集めるのです

勇者様は：私の匂いを吸い込んで、私の匂いを吸い込んで、あなたの呪いを一点に集めるのです

私の匂いを吸い込んで、私の匂いを吸い込んで、あなたの呪いを一点に集めるのです

息をすばる：私の匂いを吸い込んで、私の匂いを吸い込んで、あなたの呪いを一点に集めるのです

勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

失礼なのは重々承知しておりましたが：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

これ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

ふふ：勇者様のチンポを踏みつけた挙句：顔に座るなんて：呪いを吐き出せますよ

さて、と一通りの儀式は終わりましたが...

勇者様が呪いから守る、神の加護は如何でしょうか

勇者様がまた魔物の呪いに負けないように：私が護りのまじないをかけて差し上げます

私は心配なだけです：これから先も、魔王を倒すべく旅を続ける勇者様が、また魔物に呪われてし

まったりしないかと：この加護は、私がエルフ式の魔術と合わせて編み出した、私だけの特別な術式：

術者と被術者、私がエルフ式の魔術と合わせて編み出した、私だけの特別な術式：

勇者様の魔力を抽出し、私と勇者様の魔力を編み込んで、勇者様の中に注ぎ込む：そう考えてください

勇者様の部分はセックス、という言葉は編み込んで、勇者様の中に注ぎ込む：そう考えてください

私の女の部分と、勇者様の男の部分、私の魔力を編み込んで、勇者様の中に注ぎ込む：そう考えてください

古来より、勇者様は博識です、ね、私の魔力を移し合う行為として、最も効率の良い方法です

快楽を感じれば感じるほど：互いを行き来する魔力は多くなる：キスを通じて、魔力を勇者様

勇者様のチンポから魔力を吸い上げ：私の中で、私の魔力と絡ませ：キスを通じて、魔力を勇者様

そのために、まずチンポを挿入し：勇者様から、魔力を頂きます：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

この快感を感じて頂くために：エルフ特製のローションも使います：この快感が増すことでしょう

## 07.加護の儀式

では：♥入れますよ：♥私の中に入っていく所：しっかりとご覧くださいませ：♥  
勇者様の魔力：なんっ：♥思ってた以上に：強いです♥  
これは私の魔力なら：私の術式と合わせて、強力な加護が作れそうです：♥  
では：私の中で、より強力に編み込んだ勇者様の魔力を：♥

さあ：もう一度、勇者様の魔力を頂きます：♥  
本当は：濃い魔力：♥あんなの、私も初めて：♥

では：また、加護の魔力をお返ししていきます：♥  
：はい、一度、術は少しづつ、勇者様の中に定着し始めていますよ：♥

では：もう一度、勇者様から魔力を頂きます：♥  
快樂を感じても、人様から魔力を頂きます：♥  
せ：口を開けて、加護の術式が：壊れてしまいませんか：♥

さあ：そろそろ、体に変化を感じるはず：♥

例えば：少しづつ、私と一体化する：♥  
私の魔力と、勇者様の魔力を一つに合せているような、そんな感じがしていませんか？

一つに送れば、勇者様の魔力が：私たちの魔力が絡み合って、溶けあっている証拠：♥

また：動きやすくなる：♥勇者様に馴染んでいるのです：♥

私の術による加護が完成するまで：何度でも：何度でも：♥

ローションが薄くなってきましたね：一度、ローションを足しましょうか：♥  
もう一度：勇者様のチンポに：♥私の方にも：♥勇者様：♥

少しづつ：加護の術が定着してきましたね：♥  
ふふ：♥身体が暖かくなってきましたか：♥  
他者の魔力が流れ込んでいて、証拠です：♥  
極々稀ですが、魔力の拒絶反応が起きることもありますし：♥

しかし：その反応を見るに、それはないようです：♥  
むしろ：定着するまで、人も、相性が良過ぎるくらいです：♥  
加護の術が、魔力的にも、人々：♥何度でも：♥

：強力な呪いも跳ね返すように：♥ちゅっ：♥  
大丈夫、今は快樂に溺れているのですよ：♥  
：加護を付けて差し上げます：♥

もうすぐ、術は完成します：♥  
それまでもう少しだけ射精を堪えてください：♥

これで：加護の術は完成：♥

最後に：勇者様が、私の中に射精すれば：加護の儀式は終わりです♥  
ふふ：♥冗談です：♥なる教会のシスターとまぐわうなんて、なんとふしだらな勇者でしょう：♥  
さあ：これが最後です：♥私の中に射精してください、勇者様♥

勇者様の、射精を確認しました：♥  
はい、今の射精で、私の加護の術は完成です♥  
チンポを抜きますよ：♥術は完成しましたから：♥

中に吐き出した精子が：このまま捨ててしまうのは勿体ないですね：♥  
魔力の詰まった精液：♥

手で掬ってみましたが：ぐっ：♥むせかえるような匂いですね：♥

中に出されたものを、頂いてしまいました：♥  
それにしても、本当は思えないくらい：勇者様の精液：♥  
術を行使した後とは、違い：術を行う前よりも魔力に満ち溢れるような：♥  
流石は、選ばれし勇者様ですね♥



では勇者様、先の呪いのお祓い、合わせて加護の術：合わせて6000万、我が教会への寄付をお願い致します♥  
呪いのお祓いが2000万、加護の術が4000万、合わせて6000万になります♥

：ああ？もしや：お金がない？  
まあまあ：それは困りましたね：♥

私とセックスまでしたというのに：今更にお金がないとは：♥

でしたらその命：神に返しますか？：なんて、冗談ですよ、冗談♥

そうです：ねえ：お金の代わりには、何かで払っていただければ結構ですよ

勇者様には：お金の代わりには、何を差し出すことが出来そうですか♥♥

：今のその装備を売って、6000万に足りるのでしょうか♥♥

私、先ほどのセックスで思ったのですが：勇者様の精液には、大変濃い魔力を感じました：♥

本来、解呪と加護の術で魔力を使っていたはずなのに：まだこんな魔力に満ち溢れている：♥

ねえ勇者様：当面の間、この教会で働きませんか？♥

とは言っても：勇者様には借金返済が終わるまで、強制的に働いてもらうことになりますが：♥

この教会には、魔物と戦う為に結成された、教会騎士団がいるんです

王宮勤めだった兵士の指導もあつて、近隣の街からも雇いたいと声もかかるほどの精鋭たちです

その騎士団のために：勇者様の精液を提供して頂く、というのはどうでしょうか♥

：はい♥勇者様の精液は、強力な魔力そのものですから、体内に取り込むことで、その魔力を得ること

が安心ください♥我が教会が誇る騎士団は、全員女性ですから♥

借金の返済方法として、我が教会の騎士団の面々とセックスをして、勇者様の精液、魔力を提供し

て頂く：というのはどうでしょうか♥

：ふふふ♥残念ですが、今の勇者様に拒否権はありません♥

それとも：今すぐここに、6000万を用意できるとしても？

：では決定です♥騎士団全員とのセックスが終わるまで、勇者様には教会に留まって頂きますね♥